

施主ブログに記述された新築の戸建住宅オーナーと庭との関わりについての研究

The Relationship between House Owners and their Gardens: a Content Analysis of Newly-built House Owner's Blogs

矢部 恒彦*

Tsunehiko YABE

Abstract: Why does some house garden have rich vegetation and the others have not? The aim of this study is that give an account of the relationship between house owners and gardens, by using content analysis of newly-built house owner's blogs. There are two approaches as follows; (i.) Quantitative analysis: The author arrange this data sets by topics of the articles. Topics are divided into 10 groups. Then, count the words of topics and locate the topics on the whole time-line of one of the blogs. This shows that, the owners tend to write the topics about "shopping", "order" at early stage of the time-line, and then they write the topics about "gardening work". (ii.) Qualitative analysis: The author slice the articles into the small segments and summarize it in the codes. Then arrange the code map to build up 11 categories and sub-categories. The map shows that, relationship between owners and their gardens is start from "own garden", and next toward "start to work". Then this tendency divided into two directions: "garden work as recreation" and "garden work as housework". These two trends make variation of the relationship from "greenery as home facilities" to "greenery as it is". The relationship between house owners and their gardens: a content analysis of newly-built hose owner's blogs.

Keywords: *gardening, exterior, qualitative, content analysis*

キーワード：ガーデニング，外構，質的，内容分析

1. はじめに

(1) 調査研究の対象と目的

多くの人々にとって、住宅は一世一代の買い物であろう。住宅を取得する時、人々は、ローン審査、業者選びなどから始まり、それまでの日常生活には無かった多くのことを体験する。これは鮮烈な体験のようで、個人が執筆するブログサイトには、住宅の所有者になるまでの様々な体験が記されている。その中には、高価な上に、中古住宅やマンションなどと比べて複雑な買い物となる戸建住宅の購入体験記が数多くあり、施主ブログと通称されている。

施主ブログは、新築の住宅取得を思い立ってから、竣工、引越後の生活までを記したオンライン日記という類似した形式を持つ。ブログのエントリ（日々の日記に相当する一記事）は項目ごとに整理されている場合が多く、庭関連の項目の中には、発注、緑の手入れ、遊び、庭木紹介など、一般の生活者から見た庭についてのエントリが掲載されている。

本研究では、施主ブログのうち、庭と植物に関わるエントリがあるものを対象としてテキスト内容分析を行う。これにより、ブログに描かれた、一般的な生活者像としての施主と、庭や緑との関わりを明らかにすることを目的とする。

(2) 既往研究と本研究の意義

戸建住宅地の庭は重要な緑地である。たとえ、それを庭園だとは言えないような極小の植栽空間でも、住民に緑との触れ合いを提供するだけに留まらない重要性を持つ。

高橋らによれば、1990年代中盤コンテナ・ガーデニングが日本で普及した¹⁾。コンテナは街路に面した場所に置かれることが多く、街路からの視線を意識し、装飾性を志向した緑化が行われている²⁾。岡田らは、つる性植物による立面緑化を行なっている住民へのアンケート調査を行い、植物への興味だけではなく、住まいのイメージアップや立面の装飾を目的として緑化を行なっていることを明らかにしている³⁾。さらに、戸建住宅団地を対象とし

た権らの調査によると、私有庭の外側にあるアプローチ部分に植物が置かれるようになって来たことが明らかにされている⁴⁾。

このように、住民による緑化は、趣味的、自発的な活動から始まり、街路周辺を緑で満たす事へと繋がる重要な活動だと位置づけることが出来るだろう。

しかし一方、人々が住宅を所有して緑のある庭を維持することは、容易なことではない。加藤らは、コンジョイント分析によって、庭造りをする際、住宅の購入予定者は、緑の質よりも管理労力を重要視する傾向がある事などを明らかにした⁵⁾。また、内田によるアンケート調査においては、65%の住民が今後の庭園を「十分管理する」としているが、13%の住民が庭園管理を「手間がかかり、やりきれない」と回答している⁶⁾。多くの人々が、住宅所有者として庭と関わりを持っている。このため、庭は小さくとも豊かな緑地となる場合もあるが、反対に、手間のかかる厄介な物に留まる場合もある。

施主と庭や緑との関わり現在の形を、文化的な側面から記述することで、住宅所有者としての住民が積極的に庭や緑と関わっていくための示唆を得られる点に、本研究の意義があると考えられる。

2. 施主ブログの調査方法

(1) 調査と分析の概要

調査にあたっては、対象のブログを絞り込み(3章)、簡便な量的分析(3章)の後に、質的分析(4章)を行った。具体的には以下の手順である；

エントリ毎の量的テキスト分析：エントリ毎の話題について文字を計数し、ブログにおける話題の変遷を明らかにした。これにより、各ブログごとに概要と傾向を明らかにした。

文章切片毎の質的テキスト分析：質的な分析は、人々が活動しながら何を考え、活動の結果をどのように捉えているかを記述するの優れている。様々な手順が提案されているが、総じて、段

*法政大学社会学部

表—1 ブログ・ランキングサイトの概要

名称：にはんブログ村 http://www.blogmura.com/
開設：2004年
概要：ブログ運営者(ブログ主)の登録制
話題のジャンルごとに分かれてブログを登録
当サイト←各ブログ間のアクセス数を計測し順位付け

表—2 施主ブログの住宅とブログ主

対象記事(字)	PV/日	竣工月	※住宅 施工者	性別	家族	その他
8656	1236	2005.8	SK-HO	女性	子供有	
3799	1084	2010.10	SK-HO	女性	子供有	
885	860	2010.12	工務店	女性	子供有	敷地:100坪
6239	824	2008.10	工務店	女性	子供有	地域:北海道
2240	819	2011.2	SU-R	男性	子供有	
1127	783	2011.4	SK-HO	女性	子供有	
695	730	2011.5	MIT	女性	子供有	
6147	700	2007.10	SK-HI	男性	子供有	
3679	668	2010.11	DAI	女性	子供有	
2891	609	2011.1	DAI	女性	子供有	
5169	581	2010.12	SK-HO	女性	子供有	
4192	576	2010.11	SK-HI	男性	子供有	
19800	565	2011.02	MIT	女性	夫婦のみ	
830	564	2009.10	SK-HI	女性	子供有	
1113	546	2011.4	A-HB	女性	夫婦のみ	
914	537	2011.1	DAI	女性	子供有	
959	533	2011.2	SU-R	女性	子供有	
657	492	2010.7	SK-HO	女性	子供有	
1091	467	2010.9	SK-HI	女性	子供有	
12235	464	2009.3	A-HB	女性	夫婦のみ	
3399	457	2010.12	DAI	女性	子供有	
6678	439	2011.3	MIT	女性	子供有	
5110	423	2010.12	SHO	男性	子供有	

※各ブログは、住宅の施工者毎のランキングに登録されている。
これがハウスメーカーの場合はイニシャル、もしくは「工務店」とした。

階的・再帰的に元データを捨象しながら整理・統合しカテゴリを構築していく点に特徴がある。ここでは、個別の事例を跨ぎ、書かれたり、話されたりした言葉が総体として持つ傾向、つまりテキスト全体の傾向を明らかにする事を目指す場合が多い。

本調査においては、第一段階として、大谷による SCAT (Steps for Coding and Theorization) を参考とし、エントリをまとまりのある文章ごとに切片化し、個別のブログ毎にコーディングをした⁸⁹⁾。

SCAT は、一人だけの聞き取り調査のテキストなど、比較的小さな規模のデータに対応した質的分析の手法である。表計算ソフトのデータ・シートを用いて、文章切片に対して段階的に読みと考察を行い、切片全体を通じた要約を行う。本調査における利点は、大量の初期コーディング作業をデータ・シートによって明示化できる点にあると考えられる。

第二段階として、SCAT で形成された下位コードによって全対象ブログにおけるコード・ツリーを構築し、コード相互の関係からカテゴリとサブカテゴリを得た。それは、各ブログを跨いで、総体としての施主ブログのテキストに描かれた、庭にまつわる出来事や、感じたり考えたりした事を捨象したデータ群である。これを読み解き、総体としての施主と、庭や緑との関係を記述した。

(2) 対象となるブログの選定と特徴

調査対象データの範囲を確定するため、ブログ黎明期に開設され現在まで活発に運営されている、ブログ専用の人気ランキング・サイトを利用した。そこは、数多くのブログ主(ブログの著者)が、話題分野ごとの人気ランキングに参加し、順位を上げ、それによって新たな閲覧者を誘導することを目指している(表-1)。本調査では、一般の生活者がブログ主となる[ライフスタイル][住まい]分野の下位から、施主による新築住宅に関するブログが登録されている15 話題分野を選択した。なお、この段階で、

住宅施工業者や造園業者が明示的にブログ主やスポンサーとなったものは除外された。

ランキング順位は、ランキング・サイトと各ブログ間の閲覧者の移動数によって計測されている。本調査では、ランキング・サイトから各ブログへの移動 PV(ページビュー≒アクセス)数が多い、つまり、リンク・サイトを介して数多くの閲覧者を持つ上位100 位までのサイトに着目した。そこから、複数の話題分野に登録されたもの、竣工時期が2011 年6 月以降のものを除くと、庭に関連した題名を持つエントリが掲載されたものは23 ブログ、一日400PV 以上閲覧されているものとなった。

一定の閲覧者を持つブログは、個人的な日記であると同時に、不特定多数の読者を満足させるように記述されていると考えられる。つまり調査対象は、閲覧者の人気投票による選別と淘汰によって形成された、多数の一般生活者の庭における行動、考え方、感じ方に寄り添ったテキストであると言える。さらに、住宅新築という希少なライフ・イベントの日記である事も鑑みれば、総体としてのテキストには、閲覧者が自己投影できるロールモデルとしての施主像が描かれているとも言える。

以上から、調査対象の施主ブログは、施主と、庭や緑との関わり方を、総体として描いたものだと位置づけることが出来るだろう。

(3) 施主ブログの概要

調査対象ブログについて、2011 年8 月初頭、住宅の庭に関連したタイトルを持つ記事の全文を保存し、アクセス順位に応じて各ブログに ID 番号を与えた(表-2)。また、ブログ主の社会的属性をおおまかに見るため、自己紹介の記事などから家族構成などを確認した。対象エントリは、全ブログ平均で約4200 字であり、1 日当たりアクセスは100 位のものでも400PV 以上あることから、閲覧者にとって、十分な読み応えのある文章であることが伺える。

家族構成などを見ると、新築住宅の施主であるブログ主の多くは既婚者であり、女性、子供のある者がそれぞれ約8割となった。なお、全ての男性ブログ主は既婚・子供持ちである。また、竣工時期については2010 年~11 年の冬季、竣工してから調査時点まで約半年間のエントリをもつブログが、最頻の調査対象となった。

3. エントリから見た個別ブログの話題変化

次に、調査対象の各エントリにおける主な話題によって、エントリを分類し文字数を計数した。その結果、10 話題に分類された(図-1 中「エントリの話題」)。なお、1 エントリの長さは平均346 文字である。

最も多い話題は、ブログ主自身が所有する庭での[作業]に関するもので、全文字数の30%を占める。また、住宅・庭の発注主であるブログ主と、造園の専門家である[業者やりとり]に関する記事が20%出現した。左記二つの話題は対照的であり、前者はブログ主が直接に庭と関わる事、後者は専門家を介して間接的に庭と関わることを扱っている。

話題[作業]のブログ毎出現率は、40%以上のブログと25%以下のブログに大別できる。このため、[作業]出現率が高位群の10 ブログと、低位群の13 ブログに分けて、ブログの時系列における話題の変遷を計数した(図-1)。

高位群においては、[作業]が時系列の最初から最後まで満遍なく出現していることが分かる。これに対して、低位群においては、時系列の初期に、話題[業者やりとり]が多く出現していた。つまり高位群は、住宅新築をする際、最初から自らが直接関わるものとして庭を記事化しているのに対して、低位群は、間接的に関わるものとして庭を記事化している。

ただし、低位群においても、エントリ変遷の長いブログID67, 95, 23については、後半で[作業]が出現している。つまり、多くの話題を扱ったブログにおいては、初期では庭への直接的な関わりがなくても、その後、直接的な関わりが記述されていた。これは、十分な文章長を持つブログであれば、直接的/間接的いずれもの庭との関わりが記述されるようになる事を示唆している。ここから、全ブログは施主と庭に関する様々な関係を全て含むものと考え、以下4章では、全ブログを一つのテキストと見なした質的分析を目指す。

4. 質的調査による住宅所有者と庭や緑との関係

(1) SCAT を参考にした個別ブログのコーディング

本章では質的調査を行い、施主ブログ総体としての住宅所有者と庭・緑との関わりについて検討する。第一段階として、個別のブログをコーディングした。

まず、SCATを参考にエントリをまとまりのある文章切片に分割し、5段階の記入を行った(表-3)。この結果、文章切片を、項目(4)「テーマ・概念構成(前後や全体の文脈を考慮して)」の中に、複数の短文として捨象することが出来た。

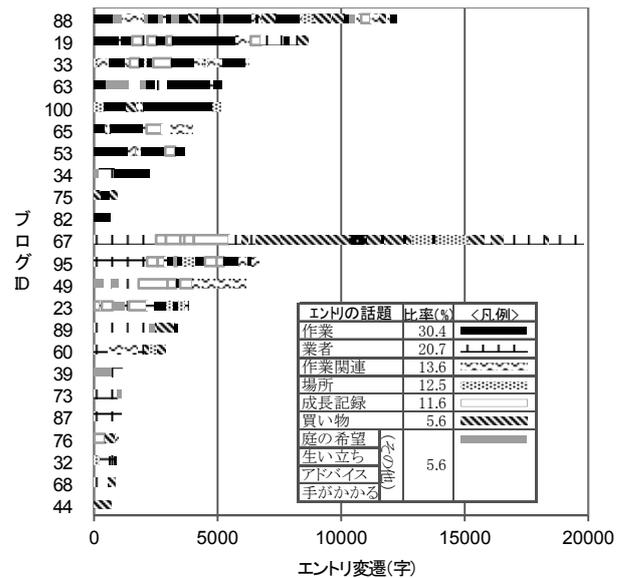


図-1 調査対象ブログの話題変遷

表-3 SCATによるコード化手続きの抜粋

元テキスト (ブログID:33)	<1>テキスト中の注目すべき語句	<2>テキスト中の語句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外 の概念	<4>テーマ・概念構成(前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題
植物は全部、去年植えたものです。ラベンダー、セラスチウム、タイム、オレガノ、カモミール、セダム等の北国でも越冬できる宿根草メインで植えたので、無事に今年も芽を出して元気な育っています。育てたくないスギナやタンポポも、育ちまくってますが、去年植えた宿根草の中で1つ「ガウラ」だけ、今年も出てきません。他の植物の勢いに負けちゃったのか、管理が悪かったのかはわかりませんが、今年も植えてみようかな…少し音が高いのでノッペリした庭のアクセントになるかな…	北国でも越冬できる/スギナやタンポポも/ただ1つだけ出てきません/他の植物に負けただか/今年も植えてみようかな	ガウラ以外の宿根草は越冬/雑草も繁殖		場所の力を使う植物/場所の負かとしての雑草/作業の自己評価/垂直園芸への意識	宿根草の名前を列挙している。どの程度の知識があるのか?
私のガーデン、まだ花は咲いてませんが、葉っぱだけの状態も結構好きです。葉っぱにも色があってキレイだな、と思います。去年植えた植物の中で1番気に入っているのが、オレガノのセントビューティー。うっすらピンクの花が咲いて、ドライフラワーにもなって、とてもかわいくて使えるので大好きです。もっともって株を増やしたいくらい。気付くと、うちの庭、オレガノ率が高いかも…。(以降省略)	葉っぱにも色/うっすらピンク/とてもかわいくて使える/これもオレガノ	見てよし、ドライフラワーにもなる、料理を知らない	細やかな鑑賞、収穫、食べる	細やかな鑑賞/収穫/植物を好きになる	
こういうかわいい園芸グローブを使うと、やる気もアップしますね。これは、福岡へ行った時にナチュラルキッチンで購入した物。100円だけど、土まみれになりそうときは勿体無く使えない…さあ、我が家の畑2010。	やる気もアップしますね/土まみれ	園芸グローブはカワイイが、土まみれはもったいない	作業は土まみれ/放っておくとやる気は下がる	作業のためのショッピング/義務的な作業	楽しみ、義務どちらに重きを置いているのか?
ストーリーライン	様々な植物を育てることで、実践的な知識を身に付けていく。細やかな観察をし、今後の変化を楽しみにしている。自称「ズボラ」は、義務としての作業を、なるべく負担を感じず、楽しい作業にすることを含意。ほどほどの作業量になるように植物の選択などに気を使い、試行して、さらに知識を増やしていく。				
論理的記述	・細やかな観察は、今後の成長値への期待へとつながる。 ・実践的な知識は、植物を育てる試行によって得られる。 ・気楽な作業として着手された作業は、楽しい作業となる。				
さらに追求すべき点・課題	義務としての作業/楽しい作業の区別は、ほとんど記述されていない。どこから、楽しい作業、となるのか?				

元テキスト (ブログID:95)	<1>テキスト中の注目すべき語句	<2>テキスト中の語句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外 の概念	<4>テーマ・概念構成(前後や全体の文脈を考慮して)	<5>疑問・課題
土地と建物の契約をする前に、外構工事の打ち合わせに行ってきたミサワ関連の業者の完成予想図?みたいなやつを前にもう一度、見てたけど。。。コンクリートだらけの、殺風景の、デザイン性全くなしの、つまらねー庭だわー。と、またしても思っちゃったり。(コメンサライ、口悪いっす)写真撮るの忘れてます。撮ったら載せませーす。やっぱりさ、外構工事費って、一番割やすい部分で、おうちが立派に完成しても、外構部分にお金かけるのは、やはり気が引けるけども…。(以降省略)	コンクリートだらけ殺風景/外構部分にお金かけるのは、やはり気が引ける/目につくって、おうちの外/これって人それぞれだから	外構は贅沢な出費。ただし外観は誰の目にも触れる/自分はお金かける/他人の出費には干渉しない	殺風景ではなく、ちよつと良い(植物有る)外観。他人の外観は否定しない。	「お金をかける」外構/植栽導入/他人の評価	「お金をかけた」植栽。これは離れた観察(鑑賞)へとつながるのか?
そうそう、植物も入りましたよ。何で名前か、さっぱりわかりません…ぜんぶおまかせ…門扉と家の隙間、どーすんだらう?と思っていたけど、木で隠す感じに。芝も入りました。この部分、柵を建てたいけど…今、追加で考えてます。車がなくて、庭がOPENになっちゃう…追加料金いくらでしょうね(爆)殺風景な感じだったココも…植物が入って、また華やかな感じになりました。	なんて名前か、さっぱりわかりません/庭がOPENに	植栽の選択は全て業者に/仕上がりの細かい問題点	植物に興味はない	業者植栽に興味なし/外構の空間構成に着目	
芝刈り機のほかに、芝用のバリカンも購入。マキタ充電式芝生バリカン MUM105DW ¥12,264楽天ほとんど、いちいちお金がかかります…この工具の手入れも必要なので、手間もお金もかかるんだなあ。大変だけど。青々とした芝生の眺めは、最高です	バリカンも購入/手間もお金もかかるんだなあ/眺めは最高です	作業のためにの出費/作業の結果に満足	楽しくない買い物/水やり、出費、などを振り返る	楽しくないショッピング/出費と作業の結果を鑑賞	ショッピング/出費は対極の関係
ストーリーライン	ブログ主は、外構製品のひとつとして植栽を記述している。ほとんどの植物に興味はないが、芝生が中心である。「お金をかけ」て導入し、義務としての作業と、出費の成果が芝生の繁茂となる。緑の芝生は、達成感を持って鑑賞される。				
論理的記述	・芝生は、外構製品のひとつのように捉えられている植栽である。 ・個別の植物に興味はないが、庭全体は鑑賞され、意識されている。 ・義務としての作業として着手された作業は、辛い作業になる。				

二つの流れは、それぞれ、所有者自らが草木を手入れして【庭を育てる】ことと、仕上がった【庭を賞でる】こと各々との関連を持つ。

さらに、【庭を育てる】ことは作業に【応える庭】を介して【生き物としての草木】へと関連する(図-2 矢印 B¹)。一方、【庭を賞でる】ことは見栄え良く【整えられた庭】を介して【置物としての草木】へと関連する(図-2 矢印 B²)。この、草木自身の生命力に着目する【生き物としての草木】と、草木を、あたかも庭に配置された備品のように見なす【置物としての草木】は、所有者と、庭や緑との対極的な関わり方と捉えることの出来るカテゴリとなった。

(3) カテゴリごとに見た施主と庭や緑との関わり

カテゴリの構築と並行して、その中にサブカテゴリ構築し、代表的コードを要約しサブカテゴリ名とした(表-5)。以下、これを詳細に検討する。

(i) A庭所有の初期

【庭を持つ】 施主は草木を購入するが、この際、購入という行為がそれ自身が娯楽、つまり【植物のショッピング】となっている。同じく、【業者への注文】でも、庭所有者は、造園業者とのやりとりをショッピングのように楽しむ。一方、この時点から、【将来の

心配】として、将来の庭作業が負担となるのではないかと予期されている。

【作業：「重い腰」が上がる】 施主は、作業できなかったことを【過去の後悔】している。草木は【手を付けられない】と意識の外に置かれるか、反対に、草木が意識されながらも【見て見ぬふり】されている。所有者の多くは職業を持つなど、作業のためには【時間の都合をつける】必要がある為である。ここから、何らかの【作業の契機】があって作業開始される。

(ii) B¹庭を育てる流れへ

【作業：リクリエーションとして】 一回限りの【気軽な作業や、作業の中でも【収穫】は、所有者の楽しみとなる。こうした作業では、配偶者や子供などの【家族の参加】や、植物に詳しい友人などの【知り合いからの知識習得】でのやりとりなど、周囲の人々と楽しみが共有されている。こうした作業をすることは、作業の成果として植物が成長することへの【近い将来への期待】へと関連する。

【庭を育てる】 楽しく作業し、その成果を期待する施主は、さらに新規の作業への【作業意欲】を持つ。このような草木への積極的な関わりが増すことを明示するのは、様々な草木の栽培について【試行】することである。こうした作業と成果によって、施主は

表-5 カテゴリとサブカテゴリの一覧

<p>庭を持つ</p> <p>植物のショッピング 100 ハナミズキ</p> <p>コスダウン/シンボルツリー/植木市/親戚のおじさんにお願ひ</p> <p>業者への注文 67 紅花ユゴノなど</p> <p>景観条例/春夏秋冬/400万オーバー</p> <p>将来の心配 95 シバ</p> <p>うらやましいぐらい/キレイな芝/丸く/余計に/植えてもらったのですが、管理できるのか...心配</p>	<p>作業：リクリエーションとして</p> <p>気楽な作業 53 ラナンキュラスなど</p> <p>別の鉢/買い足す/まとめる/予定が崩れ/華やかになることを祈っています</p> <p>鉢に合わない苗物/苗物同士の取り合わせが気に入らない/変更/今後の開花に期待</p> <p>収穫 33 オレガノ</p> <p>葉っぱにも色/うつつらピンク/とてもかわいくて使えるので大好きです/これもオレガノ</p> <p>知り合いからの知識伝授 88 (特定せず)</p> <p>お庭をチェック/思ってたよりも良い/庭の状態を確認してもらおう/OKもらう</p>	<p>応える庭</p> <p>作業に応える 88 パラ</p> <p>地植えをした結果/お花を咲かせてくれると期待</p> <p>適地を選び、根付く/これから期待</p> <p>両義性に対応 19 (特定せず)</p> <p>セミの声/ウルサイ/この緑は気持ち良くて大好きなんです...世話や手入れが大変</p> <p>自然が豊か/眺めの気持ちいいが、虫も来る</p> <p>庭と場所の力 65 ジャガイモ</p> <p>各野菜への風通しと日差しが良かった/採れ続けて/収穫時期を狙っております</p> <p>別の野菜がなくなると/風通しと日当たりが良くなる</p>	<p>庭を賞でる</p> <p>ポジティブな記憶 95 ローズマリー</p> <p>少し葉が増えた気がします/いい香りにびびったり/植えられてます/全部お任せして植えて</p> <p>「気がします」詳細な観察ではない</p> <p>広がり観察 95 シバ</p> <p>手間もお金もかかるんだなあ/眺めは最高です</p> <p>面倒な作業/作業のための出費/結果に満足</p> <p>個別植物に興味なし 89 (不明)</p> <p>植栽が変更される葉っぱ/育ったら/赤い葉っぱは気に入らない</p> <p>垂直園芸への志向 88 (特定せず)</p> <p>高さが必要なんだなあ/実際に植えてみると/だんだんいい感じ</p> <p>園芸を開始/成長する植物と日当たりに意識するようになる</p>
<p>「重い腰」が上がる</p> <p>過去の後悔 53 センニチコウ</p> <p>お水が足りてなかった/可哀そうに</p> <p>夏真っ盛りに枯らす/不在</p> <p>時間の都合をつける 23 シバ</p> <p>朝8時以降かな〜/って/かっこのない/もう絶対今週末</p> <p>早すぎる作業は近所迷惑/夕方になり/作業ができない/毎朝の朝出勤/職場早退</p> <p>作業の契機 63 ゴーヤ</p> <p>縄を張ったり面倒だなあ/種を置いて行って/重い腰を上げて/生命を感じましたね</p> <p>種をもらった/発芽に生命力</p> <p>手を付けられない 89 (特定せず)</p> <p>でかい門柱/防草シート/花壇とかいりません/草むしりもしたくありません</p> <p>なるべく植栽を少なく/追加予算への心配</p> <p>見て見ぬふり 19 イチゴ</p> <p>イチゴが自然繁殖して/す/鬱陶しい場所/見て見ぬふり/癒しの場所に変えよう</p> <p>繁茂する/繁茂し過ぎを見て見ぬふり/苗を移動</p>	<p>家族の参加 65 キュウリ</p> <p>初収穫/奪い合いになりそう/食べきれないぐらい</p> <p>兄弟で収穫/家族はキュウリ好き</p> <p>近い将来の期待 95 ヒメイワダレウ</p> <p>手入れする必要なく/すぐ薬/どうなることでしょう/敷き詰められるといいな</p> <p>手入れしないのによく根付く</p> <p>庭を育てる</p> <p>作業意欲 63 ゴーヤ</p> <p>心配しましたが/やっぱり嬉しい/来年は早めに</p> <p>遅い時期に植えたので成長が心配/開花/来年は収穫を希望</p> <p>実践的な知識の習得 65 キュウリ</p> <p>フェンスでどうにかなるかな/しっかりネット</p> <p>成長を見込む/既設フェンスでは足りないのでネットを張る</p> <p>試行 49 グレブリア</p> <p>昨年枯れてしまった/きつとエルニーニョ/外で育てられる観葉植物</p> <p>プランタに植栽/枯れる植物と根付いた植物</p>	<p>作業：家事労働として</p> <p>近所迷惑を防ぐ 88 ベチユニア</p> <p>気持ちよく近づくために/庭の手入れはきちんとして/出される限りの努力/相当のプレッシャー/ベチユニアさん...はあ</p> <p>植物で敷地周りを汚さないための作業をする</p> <p>戸惑い 67 ジューンベリー</p> <p>だんだん、だんだん悩み出してきました/噴霧器を購入/何をどうすれば/虫がどうよ/出てきたら/微妙なことを書いています/ものが見つかりません</p> <p>虫退治のための噴霧器/作業方法が分からない/虫が嫌い</p>	<p>整えられた庭</p> <p>業者に追加注文 67 (特定せず)</p> <p>メンテナンス/1.5〜2万円/調べれば/いいんだけど/あー。庭がめんどくさい!/他にもいっぱいいいことあるのに</p> <p>作業する業者を探す/ブログ主はネット検索が得意なはず</p> <p>作業時間を減らす 95 シバ</p> <p>お金さん、さようなら.../いい出来栄</p> <p>芝刈り機を購入/作業の結果に満足</p>
<p>置物としての草木</p> <p>両義性の排除 49 シヤカンフなど</p> <p>新芽の状態/アオムシ来たたら許さ</p> <p>自分が選択/購入した草木に、虫がついてほしくない</p> <p>草木の理想化 67 (特定せず)</p> <p>何かうじゃうじゃ出てきそう/収穫出来るはず/実がなかったものってなかったんだろうか?</p> <p>虫の巣があるのではと恐怖(冗談で)最初から実のなった木を希望</p>	<p>繁茂の調整 19 ブルーベリー</p> <p>雑草とイチジク/土を入れて/根付いてくれています</p> <p>ブルーベリー</p> <p>雑草が繁茂している場所を整備/ブルーベリーが根付く</p> <p><凡例></p> <p>カテゴリ</p> <p>サブカテゴリ ブログID 植物名</p> <p>SCAT項目<1> SCAT項目<2><3></p>	<p>出費 95 シバ</p> <p>旦那さん毎日早起き/水道料金/水道料金が気になる</p> <p>辛い作業 60 シバその他</p> <p>蚊が大量/水やり/放棄/枯れちまえる</p> <p>水やりで蚊に刺される</p> <p>家族の分担 63 シバ</p> <p>芝生の庭派/ちょっとずついけど/なんとかなる</p> <p>芝生に憧れ/実家手伝いを見込む</p> <p>作業中の充実感 88 ベチユニア</p> <p>小雨の中、花が摘み/『嫌い』手入れ全般/た、この『嫌い』は天気の良い気持ちのいい時に行うのが好きです。変わったりします。</p> <p>義務的な作業でも/天気、気持ちのいい日は楽しい</p>	<p>生き物としての草木</p> <p>両義性の受入 65 キャベツ</p> <p>なかなか巻かなかつた/虫に食われて穴だらけ/結構ずつり/航土は不思議そう/これ皆で食べようね</p> <p>時間をかけて成長/虫食い</p> <p>何もしない 19 サクランボ</p> <p>次々と実が/ところが、今年は、肥料も何もなかったのに</p> <p>4年目に初めて沢山収穫できた</p> <p>気がかり 88 ミントマト</p> <p>台風/まだまだ実をつけてくれることを祈っている/切り抜けてくれるでしょうか?</p> <p>天候が悪くなる/これからも収穫できるか?</p>

草木についての[実践的な知識の習得]をして、[繁茂の調整]を行う。
【応える庭】 施主の作業を受けて、草木は[作業に応える]成長力を発揮する。また、人の作業による働きかけではなく、植物同士の互助や、庭の日当たり、四季の気候、気象の変化など[庭と場所の力]によって草木は成長する。ただし、自然の力は常に喜びをもたらすものではない。たとえば、施主にとって好ましくない悪天候なども受け入れ、自然の[両義性に対応]している。

(iii) B²庭を賞でる流れへ

【作業：家事労働として】 作業は[出費]を伴い、また、作業によって草木や虫による[近所迷惑を防ぐ]必要がある。このような関連を持つ作業は、娯楽とは相反する義務的な家事労働となり、その義務は[家族の分担]となる。また、作業にあたっての[戸惑い]もあり、それは、[辛い作業]へと関連する。ただし、作業をやり遂げることは、[乗り越えた喜び]となる。なお、義務的な作業においても[作業中の達成感]はあり、これは、前述の【楽しみとしての作業】へと再び関連している。

【庭を賞でる】 施主は、義務的な作業を完遂することに関連して、自分が持つ庭の[広がり]の観察をする。これは所有者としての満足感を持った庭全体の鑑賞である。この鑑賞に際しても[ポジティブな記憶]など、各々の草木と言うよりは、内省的・文芸的な所見が見られる。また、[個別草木に興味なし]という立場は、草木との直接的な関わりを減らすことを明示している。ただし、[垂直園芸への指向]は、庭全体の鑑賞ともに個別の草木への注目があり、前述した【庭を育てる】へと関連している。

【庭を整える】 義務的な作業に迫られる施主は、[作業時間を減らす]。これと関連して、造園の専門[業者に追加注文]する。ここでは、施主と草木の直接的な関わりを代わりに、専門業者を通じた間接的な関わりとなっている。

(iv) 人と草木の2つの関わり方

B¹のカテゴリ関連の流れの先に、人の思い通りにはならない、人とは別の【生き物としての草木】がある。施主は、人にとって功罪両面のある自然の[両義性を受入れる]。そこで人は、草木に[何もしない]が、これは、草木が意識の外にあるのではなく、[気がかり]に意識しつつも、植物の成長力は、それぞれの草木自身が持つものと見ているからである。この[気がかり]は、[見て見ぬふり]と関連し、新たな作業の契機へと繋がる。

一方、B²のカテゴリ関連の流れの先には、エクステリア製品や備品の、人の思い通りに配置されるような【置物としての草木】がある。施主は、自然の[両義性を排除]するとともに、生きている植物を、商品カタログにある完成品のように[植物の理想化]をしている。こうした見方は、生き物としての草木に[手を付けられない]ことと関連して、庭での作業から施主を遠ざける。

(3) 小括

本章では総体としてのテキストを捨象したカテゴリ関連図により、一般的な生活者としての施主と庭や緑との関わりを明らかにした。その結果、カテゴリ関連はA；庭所有から庭での作業へ、という連なりで始まり、それは、B¹；リクリエーションとしての作業と、作業に応える庭へ、B²；義務的な作業と、整えられた庭へ、と二分化していた。前者は生き物としての植物、後者は置物としての植物として、人と草木との対極的な関わり方を示している。

5. おわりに

(1) 本研究のまとめ

本研究では、施主ブログのうち、庭についての日記のあるものを対象として内容調査を行った。まずエントリー（一日記）単位での文字数計量を行い、記事毎の話題の傾向を明らかにした。

次に、大谷のSCATを参考に文章切片をコーディングし、さら

に全ブログのコードからカテゴリ関連図を作成した。ここから、テキスト総体としての施主と庭や緑との関わりについて、B¹庭を育てる流れと、B²庭を賞でる流れに大別することができ、各々の延長線上に草木についての対極的な記述がある事などを明らかにした。

(2) 住宅の庭園を豊かな緑地とするために

施主ブログでは、新築住宅という一大ライフ・イベントの合間に、庭や緑に着目して日記を記している。このため、庭に関するまとまった記述の無いブログも多数ある中で、調査対象となった施主は直接・間接の何れであれ、住宅新築に伴って、主体的に庭や緑との新たな関わりを築こうとしている者である。

この関わりは、新築後しばらくすると「生き物」「置き物」という人と草木との対極的な関わりへと分化する。つまり、施主は、庭や緑と二面性を持った関わり方を示すようになる。

住宅の庭園を良好な緑地とするためには、まずはB¹の流れ；作業を通じた所有者と草木の直接的なやり取りを深めることが必要であろう。また、もう一方のB²の流れ：庭が美しく維持され一瞥のもとに鑑賞されることも、施主の景観体験の質を向上させるだろう。二つの流れに優劣はない。

しかし、B²の流れの先に、植物を排除した庭がある点に留意すべきである。住宅新築の当初、植物についての知識が乏しい施主にとって、素朴な庭の興味と出費が、庭での義務的な作業と追加出費という負担になり、B¹への流れが失われてしまう事を避ける必要がある。B¹の流れに向かうため、まず、庭の作業を、苦役としての家事労働ではなく、楽しみとしてのリクリエーションとするための仕掛けを作ることが鍵となる。

そこで本研究の最後に、総体としてのテキストから、個別のブログ記事へと再び着目すると、こうした仕掛けへの言及が見られた。それは、野菜や果樹といった収穫のできる草木を専門家が導入する記事である。ただし、その際、施主との十分な意思疎通が必要だと考えられる。

参考文献

- 1) 高橋ちぐさ、下村孝 (2002) : 雑誌・書籍の出版動向及び記事内容から見たガーデニングブームの実態：ランドスケープ研究 65 (5), 397-400
- 2) 高橋ちぐさ、下村孝 (2005) : 京都市左京区の住宅地におけるコンテナガーデニングの実態調査：ランドスケープ研究 68 (5), 473-478
- 3) 岡田準人、山崎美幸、下村孝、深町加津枝 (2006) : 京都市内の戸建て住宅で実施されている立面緑化の実態：ランドスケープ研究, 69(5), 795-798
- 4) 権孝姓、松尾英輔、高藤博之 (2001) : 専用住宅の門外または玄関前の植物の配置状況について：ランドスケープ研究 64 (5), 375-378
- 5) 加藤郁理、今西純一、深町加津枝、森本幸裕 (2011) : 住宅購入検討者の庭園所持や住宅の緑に対する意識についての研究：ランドスケープ研究 74 (5), 551-556
- 6) 内田均、佐藤誠樹 (2002) : 東京都内における住宅庭園の植栽管理実態について：ランドスケープ研究 65 (5), 451-454
- 7) 佐藤郁哉 (2008) : 質的データ分析法 原理・方法・実践：新福祉社
- 8) 大谷尚 (2007) : 4ステップコーディングによる質的データ分析手法 SCATの提案 —着しやすく小規模データにも適用可能な理論化の手続き—: 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 (教育科学), 27-44
- 9) 大谷尚 (2011) : 質的研究シリーズ SCAT: Steps for Coding and Theorization —明示的手続きで着しやすく小規模データに適用可能な質的データ分析手法, 感性工学 10 (3), 155-16